

# 議会だより

2025.11.1

長生村議会

検索



こちらからも議会だよりを  
見るができます

救命講習を受講



村の木「ラカンマキ」

## 議会定例会7月・9月会議

主な内容

- 定例会で決まったこと ————— 2P～
- 一般質問(5名) ————— 7P～

発行：長生村議会 編集：議会だより編集特別委員会



村の花「ハマヒルガオ」

# 議会定例会9月会議

令和7年9月会議を、9月9日から11日の3日間で開催しました。  
本会議では、認定5件、報告3件、同意1件、議案8件、陳情1件、発議案1件が上程されました。

一般質問では、5名の議員が市政を質しました。

## 決算審査特別委員会を設置

令和6年度一般会計、特別会計および下水道事業会計の決算認定が、監査委員の意見を付して上程されました。

議員による総括質疑を行い、決算審査特別委員会が設置され、7名の委員が決まりました。

委員長 石川 忠夫  
副委員長 関 克也  
委員 諸岡 夏輝  
委員 矢部 文美  
委員 芝崎 正信  
委員 岡本 高直  
委員 岩坂 研二

なお、監査委員の意見書の概要は次のとおりです。

## 監査委員の意見要旨

### 一般会計

村税については、住民税の定額減税などの影響により収入済額が減少したものの、収納率は向上している。固定資産税の収入未済額

の割合については、村税の収入未済額の約6割を占めているので、必要な措置を講じ、収入未済額の減少に努められたい。

村税以外については、保育料において収入済額が増加しており、引き続きそれ以外の科目とあわせて徴収率の維持向上に努められたい。

不用額については、令和6年度においても予算現額に対する割合が2%を下回っているため、今後も一層的確な予算の管理に努められたい。

## 国民健康保険特別会計

収入未済額が令和6年度においても継続して減少しており、収納率は向上していたことから、引き続き適正な債権管理に努めるとともに、担税力調査および滞納処分などの措置を行い、

収入未済額の減少に努められたい。

## 介護保険特別会計

現年度分と過年度分を合わせた収納率は前年度と同程度であったことから、さらなる徴収努力により収納率の向上に努められたい。

## 後期高齢者医療特別会計

昨年度に引き続き全体的な収納率は向上していたため、引き続き徴収努力を重ね、収入未済額の減少に努められたい。

## 下水道事業会計

審査の結果、決算書や政令などで定める書類などは関係法令に準拠して作成されており、その計数は誤りのないものと認められた。また、事業の経営実績および財政状況を適正に表示

していると認められた。下水道普及率および使用料徴収の対象となる有収水量は令和6年度末で42万9341㎡、前年度比で1万1136㎡増加している。

経営状況については、令和6年度の純利益は1億2115万1000円、キャッシュフローについては、資金期首残高5352万1000円に対して、2億69万4000円の資金の増加があったため、資金期末残高は2億5421万5000円となった。

公共下水道事業は良好な環境にとつて重要な基盤であることから、安定した事業経営持続のため、収益的収入の主たる下水道使用料については徴収率の向上に努め、一層の確保をはかるとともに、限られた財源を有効に活用し、適正な維持管理および施設整備に努められたい。

## 固定資産評価審査委員会委員の選任を同意

固定資産評価審査委員会委員の任期満了にともない、引き続き吉野昭生氏を選任することについて同意しました。

同氏は、優れた人格・識見をもち、委員として適任

であると認められたものです。



吉野 昭生 氏

## 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正を可決

少子高齢化、人口減少を背景に「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」および「次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律」が施行され、職員の仕事と育児の両立支援制度の利用に関する意向確認のため、所要の改正を行いました。

この条例は、令和7年10月1日から施行されます。

## 職員の育児休業等に関する条例の一部改正を可決

「地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律」の施行にともない、部分休業制度を拡充するため、所要の改正を行う必要があり、職員の育児



休業等に関する条例の一部改正を可決しました。  
この条例は令和7年10月1日から施行されます。

## 長生村農業振興地域整備促進協議会条例の一部改正を可決

わかしお農業共済組合が合併により千葉県農業共済組合となったことにより、関係する条文をわかしお農業共済組合から千葉県農業共済組合へ改正する必要があるため、長生村農業振興地域整備促進協議会条例の一部改正を可決しました。  
この条例は公布の日から施行されます。

## 長生村農産物直売施設置及び管理に関する条例を廃止する条例を可決

尼ヶ台にありました長生村農産物直売施設を増築し、農産物加工施設として改修したため、長生村農産物直売施設設置及び管理に関する条例の廃止を可決しました。

この条例は公布の日から施行されます。

## 物品購入契約の締結を可決

（仮称）長生村学校給食センター厨房備品購入について、議案が提案され可決しました。

### 契約の目的

（仮称）長生村学校給食センター厨房備品購入

### 契約の相手方

千葉市中央区都町7丁目10番10号  
株式会社アイホー 千葉営業所 所長 宮崎輝久

### 契約の方法

指名競争入札

### 契約の金額

3190万円

## 一般会計補正予算（第2号）を可決

既定の予算に歳入歳出それぞれ2億2923万6千円を追加し、予算総額を70億5975万円とする補正予算を可決しました。

### 主な歳入

#### ◎総務費国庫補助金

5116万9千円

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金です。

#### ◎ふるさと応援寄附金

5860万8千円

#### ◎繰越金

4300万4千円

#### ◎総務債

3600万円

#### ◎土木債

1630万円

### 主な歳出

#### ◎財産管理費

4800万円

役場庁舎の外壁改修工事に係る費用です。

#### ◎企画費

6000万8千円

結婚新生活支援事業補助金およびふるさと納税に係る経費です。

#### ◎税務総務費

5206万9千円

定額減税にともなう調整給付金支給事業の不足額給付に係る費用などです。

#### ◎道路橋りよう維持費

1962万5千円

道路維持管理事業に係る委託料です。

#### ◎道路橋りよう新設改良費

1300万円

驚地先の排水路整備工事に係る費用です。

#### ◎事務局費（教育費）

946万8千円

むらっ子マナビのサポート事業補助金（高校や大学などに進学する村在住の16歳および19歳年代の学生1人につき、準備金として一律3万円を支給するもの。）などです。

## 介護保険特別会計補正予算（第1号）を可決

既定の予算に歳入歳出それぞれ508万3千円を追加し、予算総額を14億7328万3千円とする補正予算を可決しました。

### 歳入

#### ◎介護給付費交付金

64万9千円

◎地域支援事業繰入金（介護予防・日常生活支援総合事業以外）

173万3千円

◎その他一般会計繰入金

241万2千円

#### ◎繰越金

28万9千円

### 歳出

#### ◎一般管理費

241万2千円

◎地域包括支援センター運営費

173万3千円

#### ◎償還金

93万8千円

## 下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について可決

下水道事業会計で生じた未処分利益剰余金について、補てん財源使用額として組入れること、および令和7年度事業会計に繰り越すことを可決しました。

## 陳情第1号を採択

9月会議に提出された陳情1件を採択しました。

### 陳情第1号

「村内体育施設における高温対策の早急な実施について」

#### ◎陳情者

長生中学校PTA会長 大橋佳美 他17名

#### ◎内容

近年、夏の異常な高温下、村内の体育施設を使用する場合、扇風機のみに対応。こうした状況では、熱中症のリスクが非常に高く、常に緊張感と危機感を持って活動せざるを得ない。体調不良の報告も多く、安全面で極めて深刻な課題である。

また、小中学校体育館は災害時の地域の避難所として指定、多くの人々が集まる場所。空調設備が不十分では、避難者の健康や安全にも支障をきたし、地域防災の観点からも必要不可欠であるとともに生徒たちの健康と命を守らなければならない。

以上の理由から体育施設への空調設備、主に冷風機の早急な設置整備を強く求めます。

## 議会定例会 7月会議

令和7年7月会議を7月7日に開催しました。

本会議では、岡本高直議員と鈴木博議員の議会運営委員会委員の辞任にともない、新たな委員に石川忠夫議員と野口康宏議員が選任されました。

### 行政視察 神奈川県 山北町議会を訪問

7月22日に神奈川県山北町を視察しました。

山北町は東京から西へ80km、神奈川県西部の山梨県境に位置し、人口9188人、世帯数4240世帯（7月1日現在）、面積224.7km<sup>2</sup>で、その90%は山岳地帯であり、県民の水がめとして丹沢湖や三保ダムなどを備え、豊かな自然を活かした観光の町として、年間150万人が訪れています。

今回の視察研修のテーマである議会改革や広報広聴活動の取組み、議員の自主

性などについて説明を受け、ご教示を頂きました。

議会改革の取組みでは「議会の見える化」をテーマに、定数問題や次世代育成、ICT化を検討し、議会活動の活性化に取り組み、議員定数削減、政務活動費の導入や議員のなり手不足に向けた環境整備が進められています。

広報広聴活動では「町民対話と情報発信」を基本理念に、おしゃべりカフェや広報誌発行に努められ、動画配信や議会タブレットの導入準備など、デジタル技術を活用した先進的な取組みがされています。

これまで積み上げてきた取組みに対し、全国町村議会から表彰され、全国各地の議会から視察研修に訪れ、山北町議会の取組みが全国に紹介されています。

こうした視察研修を通じて、議員間の交流はもちろん、双方の議会活動や各自自治体の取組みなどの情報交換ができ、大変有意義な視察研修となりました。

これからも、開かれた議会を目指し、議会力の向上に努めてまいります。

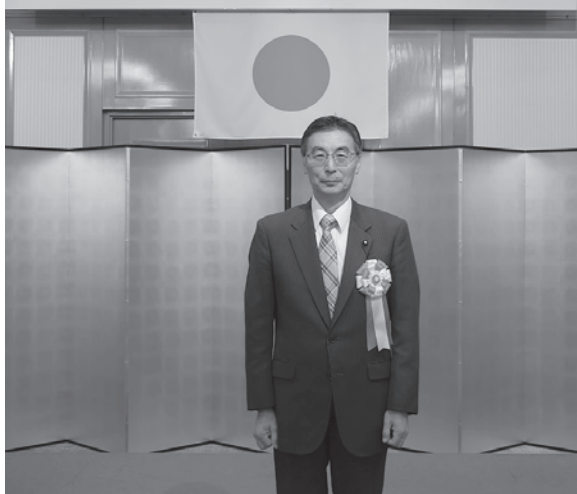


議場にて



町の議員の方から説明を受けます

### 令和7年度 都道府県議会議員及び市区町村議会議員 総務大臣感謝状贈呈式



### 総務大臣感謝状を授与

10月20日、ホテルルポール麹町にて、都道府県議会議員および市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式が挙行され、関克也議員が感謝状を授与されました。

関議員は、平成2年5月に村議会議員に初当選されてから現在に至るまで35年間にわたり、地方自治行政の発展に貢献された功績により、表彰されました。

千葉県町村議会議員研修会

7月31日、千葉県町村議会議長会主催による研修会に参加しました。

研修では、コメンテーターとして多くのテレビにも出演されている東京大学大学院の鈴木宣弘特任教授から「今後の食糧情勢と日本農業の課題」を演題に、日本の食を守る重要性について講演いただきました。その他にも、気候変動や異常気象に起因する災害へ

の対策として、災害リスクを回避するための天気予報の活かし方について学びました。

長生郡町村議会議員・事務局職員合同研修会

8月28日、長生郡町村議会議長会の主催により開催された研修会では、弁護士の太田雅幸先生を講師に迎え「議会におけるハラスメントの防止」について、研修を受けました。



農業が抱える課題について学びます



ハラスメントの事例について紹介

令和6年度 主要施策成果説明書（抜粋）

事業	事業費(千円)	事業内容
議会議場システム更新事業	17,244	耐用年数を迎えた議場システムの設備一式の更新工事を実施。
地方創生事業	21,957	総合戦略に基づき、地域プロモーションや移住定住施策、結婚新生活支援などを実施。
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	218	健康状態不明者の疾病の早期発見および早期治療のため家庭訪問を実施し、健診受診や医療機関の受診を促すとともに、健康教室・健康相談などを実施。
長生村低所得者支援及び定額減税補足給付金（調整給付）支給事業	105,223	デフレ完全脱却のための総合経済対策における物価高への支援として、低所得者支援および定額減税補足給付金（調整給付）を支給。
畜産振興事業	1,575	高騰を続ける輸入飼料から自給飼料への転換を推進し、輸入飼料の割合を減らすことで酪農家の経営状況の改善を支援。
河川維持管理事業	34,475	長生第一排水機場の排水能力を確保するため、周辺河川に堆積した土砂やカキガラなどの浚せつ工事を実施。
尼ヶ台総合公園維持管理費	26,065	公園の維持管理のほか、スポーツ振興くじ助成を活用し、野球場ラバーフェンスの改修工事を実施。
卒業記念アルバム作成費用補助事業	1,830	小中学校の卒業アルバムの作成費用に対し、一人につき1万円を補助。



# 審議結果一覧表

9月会議			
議案番号	件 名	審議結果	
認定第 1 号	令和6年度長生村一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会へ付託	
認定第 2 号	令和6年度長生村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第 3 号	令和6年度長生村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第 4 号	令和6年度長生村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第 5 号	令和6年度長生村下水道事業会計決算の認定について		
報告第 5 号	長生村一般会計継続費の継続年度終了による精算について		
報告第 6 号	令和6年度長生村健全化判断比率の報告について		
報告第 7 号	令和6年度長生村下水道事業会計資金不足比率の報告について		
同意第 2 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	可決	全会一致
議案第 35 号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	全会一致
議案第 36 号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	全会一致
議案第 37 号	長生村農業振興地域整備促進協議会条例の一部を改正する条例制定について	可決	全会一致
議案第 38 号	長生村農産物直売施設設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について	可決	全会一致
議案第 39 号	物品購入契約の締結について	可決	賛成多数
議案第 40 号	令和7年度長生村一般会計補正予算（第2号）	可決	全会一致
議案第 41 号	令和7年度長生村介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	全会一致
議案第 42 号	令和6年度長生村下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	全会一致
陳情第 1 号	村内体育施設における高温対策の早急な実施について	教育民生常任委員会へ付託	
	村内体育施設における高温対策の早急な実施について（教育民生常任委員会委員長報告）	採択	全会一致
発議案第 8 号	村内体育施設における高温対策の早急な実施を求める意見書の提出について	可決	全会一致



# 尼ヶ台総合公園 の整備などにつ いて 石川 忠夫 議員

## 公園の整備について

議員

尼ヶ台総合公園の現在の利用状況、同公園における新たな利用促進に向けた村の取り組みを伺います。

村長

尼ヶ台総合公園の利用状況は、年々増加し、令和6年度では約10万3千人が利用し、また、新たな利用促進に向けた村の取り組みは、来園者が安全・快適に利用できるよう、施設全体の見直しや駐車場の増設などにより、利便性や満足度が向上するような公園整備に努めます。

議員

尼ヶ台総合公園の課題は駐車場不足と考えますが、解消に向けた具体策を伺います。

## まちづくり課長

村では、地方創生伴走支援制度を活用し、駐車場問題を含め、課題などを整理し「使われ生きる公園」の実現に向けて、地域の拠点づくりに努めます。

## 障がい者支援について

議員

村における意思疎通が困難な聴覚障がいのある方の現状および村の取り組みを伺います。

村長

聴覚障がい者で身体障害者手帳を所持する方は、令和7年7月31日時点で38名、また、村の取り組みは、聴覚障がいのある方が円滑にコミュニケーションをはかれるよう、手話通訳者や要約筆記者を派遣する意思疎通支援事業を行っています。

議員

千葉県の補装具支給制度と、高齢者補聴器購入費助成金、難聴児補聴器購入費助成金との関係を伺います。

福祉課長

千葉県の補装具支給制度は、障害者総合支援法で定められた国県の事業で、難聴児補聴器購入費助成金は県から1/2補助、高齢者補聴器購入費助成事業は村の要綱で規定された事業となります。

なお、補聴器は、千葉県の補装具支給制度は国県負担金の制度で、利用者負担も1割で上限額が設けられ、より性能が良い高額な補聴器を安価に取得することができ、また、身体障害者手帳を取得することにより、税控除や他のサービスも受けられる可能性があるため、相談がありましたら、まず、手帳取得の説明のうえ、対象外の方に高齢者補聴器購入費助成制度を案内します。

議員

年齢で18歳以上から64歳までの方となりますが、制度から外れる方の救済措置はありませんか伺います。

福祉課長

ありません。

## 教育施設の充実に ついて

議員

学校給食センター建設に係る進捗状況を伺います。

教育長

学校給食センターの建設工事は、当初工程どおり本体の鉄骨の立ち上げを完了し、現在、外壁の建て込みをしており、順調に進捗している状況です。

議員

学校給食センターの供用開始の遅れにつき、村民への周知方法および内容を伺います。

子ども教育課長

給食センターの供用開始が令和8年9月とすることは、ホームページにて周知し、また、その内容は主に調理業務が単独調理場方式から共同調理場方式への移行となり、違いが多く運用確認に期間を要することや調理機器の使用方法の習得につき、調理工程を確認しながら安全安心な提供へ繋

げるためには一定の期間を要することを延期した理由としています。

議員

学校給食センター建設などの費用が約18億5000万円かかると伺っておりますが、物価スライドは抜きにして今後追加などがあるかを伺います。

学校給食センター建設室長

1点目は、学校給食センター本体工事の設計変更で、令和7年4月よりフロア排出抑制法の改定で、ビル用マルチエアコンが、フロングスの使用量の少ない微燃性冷媒の使用が義務付けられ、現在建設中の学校給食センターの設置する空調設備を微燃性冷媒に変更し、費用は今回の9月補正で150万円計上の変更設計業務委託で積算します。

2点目は、備品関係で設計額積算のため再見積もりを徴したところ備品の値上がりがあり、不足するため補正する予定です。

3点目は、来年度予算で配膳室に設置する冷蔵庫、冷凍庫およびパンラックを計上したいと考えております。



## 村の体育館にエアコン緊急設置を

石井 俊雄 議員

議員

3月議会での他の議員が体育館のエアコンの設置を質問しています。

私は、今回で8回目の質問になります。

なぜなら、児童生徒、村民の命は、一番優先して考えるべきだと思うからです。カムチャツカ地震では、幸い本村の被害はなかったが、今後の災害を想定すると、避難所である体育館にエアコンの設置が急務です。

村の持ち出し金は、4分の1です。

8月25日付でPTAの皆様を含めた体育館利用者から、村内体育施設における高温対策への陳情が出されました。

体育館へのエアコン設置についての準備と計画を伺います。

村長

過去に、やらないとは一

切言っております。

必要があるのは重々承知しております。

村全体の予算配分を見ただ中で、どうしても順番性がありますので、もうしばらく待っていただきたい。

住民の要望もしっかりと捉えなくてはいけないと考えています。

来年度予算に反映できるよう担当課と進めていきたい。



小学校の体育館

議員

来年度の当初予算に反映できるように担当課と進め

ていきたいとのこと。

涙が出るほど、村民と学校関係者と子どもたちは喜ぶかと思えます。

## 村の予算ゼロで村営住宅の建設を

議員

村営住宅の質問は今回で4回目です。

村民が住み続け、新たに転入者を増やすには、子育て支援の充実、福祉の充実、居住条件の向上などがあります。

茨城県境町では国の社会資本整備総合交付金を使って町営住宅の建設を5割いただき、残りの5割を民間資金から調達し、町の予算ゼロ、PFI方式で建設しています。

対象者は若者で入居費57000円で、25年経過すると無償譲渡しています。

現在の村営住宅の建て替えや若者向けの村営住宅の建設が0円で可能です。

ぜひ検討し、着手していただきたいと思います。

まちづくり課長

村では、令和6年度に土地適正化計画を策定し、従

来の土地利用に加えて、住居機能や都市機能の誘導により、コンパクトシティの形成に向けた取組を推進しております。

駅周辺の土地利用の形を含めまして、住宅事情を分析し、地域の事情を踏まえ、村主体ではなくPPP・PFも含め、民間事業者の様々なノウハウや技術を活用したいという考えです。

議員

今後、村のお金ゼロで建設ができるわけですから、境町のまちづくりを学ぶために、職員も村長も境町に出向き勉強に行く考えがあるのか伺います。

村長

議員が勉強熱心に出かけ、ご助言をいただいていることには感謝しています。別の機会に勉強させていただけますが、現時点では現地に出向く考えはありません。

## 高校・大学入学祝い増額を

議員

高校性、大学生に対し令

和5年、令和6年度は上限5万円の通学定期補助金を差し上げていました。

高校生は最大15万円、大学生は4年間で20万円の上限です。

今回の代替案については一定の評価をしますが、その代替案を見ると、高校の入学時に3万円、大学入学時に3万円です。

だったら、入学時の3万円を倍の6万円、9万円に増額できないものか、若者を村に引きとどめるために、来年度の当初予算で増額検討願います。

村長

厳しい財政状況の中で、切り詰めながら担当課から作っていただきました。

来年度は、体育施設のエアコン設置とか、結構な額が積み重なることになりましたので、増額するとは今お答えできません。

## その他

- テニスコートに夜間照明
  - 暑さ対策、高齢者支援を
  - 交流センター月曜日の休館対策
- を質問しました。





## SDGs x フェーズフリー

齋藤 憲彦 議員

### 3010運動の重要性

議員

食品ロスの観点から、3010（さんまるいちまる）運動を伺います。

村長

3010運動とは、宴会や会食の場において食べ残しを減らすための行動指針であり、最初の30分間は席に着いて料理を楽しむ時間とし、乾杯後すぐに料理に手をつけることで食べ残しを防ぎます。

最後の10分間は席に戻って再度料理を楽しむ時間とし、締めめの挨拶前に食べ残しがないよう意識的に食事をすることを促します。

3010運動は、食品ロスを減らすための具体的かつ実践的な取り組みであり、住民一人ひとりの意識改革

を促す有効な手段であると考えられることから、住民や事業者に広く周知すること、宴会や会食時の食品ロスの削減につながるものと考えられます。

議員

宴会時の食品ロスが目立っているように感じます。長生村ではまだ3010運動への意識が十分とは言えません。

食糧難になってから動くのではなく「もったいない」の気持ちを日常から行動に移していくことが大切です。食品ロスの削減は、食べ物を無駄にしないだけでなく、結果として、ごみの量を減らすことにもつながります。

こうした日常の意識と行動の積み重ねが、環境負荷の軽減にもつながり、資源を大切にし、人や自然への

敬意を持って、持続可能な暮らしを目指します。

そのためには、費用をかけずにできることから少しずつ取り組んでいく姿勢が大切だと思います。

### 空き家が暮らしに与える影響

議員

空き家、空き地が道路の安全性や通行状況に与える影響、加えて、周辺の生活環境や不動産価値への影響について、村としてどのように把握し、どのように対応されているのかを伺います。

村長

管理不全の空き家や空き地から樹木などの枝や雑草が伸びてしまい、交通に支障が出る場合がございます。

その場合、時間的な余裕がある場合は、所有者に連絡を取り対応を依頼し、緊急性が高い場合は村で対応しています。

管理不全の空き家や空き地があることで、周辺環境や不動産価値への影響ですが、周辺環境については、

害獣のすみかとなり、瓦や枝が飛散する、防犯面の心配など、住民の生活環境に影響を与えるおそれがあると考えられます。

不動産価値については、一般的に見てですが、管理不全の空き家や空き地が隣接していると、購買意欲への影響はあり、不動産の価格への影響が出るのではないかと考えられます。

空き家、空き地が適正に管理され、住民の安全、良好な生活環境が保たれるよう、所有者への周知啓発に努力してまいります。

### フェーズフリーで 守る地域の安全

議員

自主防災意識向上の観点からフェーズフリーの目的を伺います。

村長

防災の観点からいうフェーズフリーとは、平常時と災害時の局面の区分をなくすという考え方であり、いつも使っているものが、ものときに見えることで、災害時には迅速な対応が可

能になると認識をしております。

議員

現在、整備の対象は主に認定道路に限られており、実際に住民の皆さんが避難時に使う生活道路や認定外道路は、整備の対象外となっている場合も多く見受けられます。

特に高齢者や障がいのある方が使う避難ルートでは、碎石道路、段差や舗装の傷み、蓋のない側溝、照明の不足など、安全面の配慮が必要な箇所がまだ残されており、災害時だけでなく、日常から安心して通れる道づくりが大切だと感じております。

避難路沿いに空き家が点在している場合、倒壊によって通行が困難になり、避難行動に大きな影響を及ぼす可能性もあります。

長生村には、避難施設が整備され物資も整えられておりますが、道が塞がれてしまえば、そこにたどり着けなくなってしまう。平時から安全に通れる環境を整えていくことが大切です。



## カムチャツカ半 島沖地震の経験 を生かせ

関 克也 議員

階および屋上としてあるの  
ですが、施設に入れなかつ  
たという声が聞こえてきま  
した。  
村民が避難した場合、施  
設の中に入るための手段の  
説明が表示されるべきでは  
なかったのか。

テレビ・ラジオを含む情  
報の確保ができるようにし  
てほしいという声ですが、  
一松小学校の2階、高根小  
学校の2階、一松北部コミ  
センの2階には情報手段が  
確保されていますか。

総務課長

テレビを含め、確保され  
ています。

議員

避難所に医師、看護師、  
保健師など医療知識のある  
方を配置できないか。

今回の北部コミセンの例  
では「高齢者はストレスが  
たまるのか、急激に体調不  
良を起こすようだ」と実情  
を述べています。

医療知識のある方を事前  
に自主登録していただき、  
災害の際に（訓練でも）協  
力をお願いすることができ  
ないか。

防災リーダーがその避難  
場所での医療知識のある方  
を確認するという手順を整備  
してまいりたい。

総務課長

避難場所では、情報の確保  
が欠かせません。

議員

一時避難を行う場合には、  
夏の猛暑と冬の極寒に備え  
た対策が必要である。  
特に高齢者などの健康悪  
化が懸念されるからという  
声に村はどう応えますか。

総務課長

緊急避難場所も施設内に  
ついては停電にならなけれ  
ば冷暖房などを利用するこ  
とができます。

議員

避難所では、情報の確保  
が欠かせません。

緊急避難場所

No.	施設名	階上	階下	面積	位置
1	三好小学校	3階	13.0m	一松573	I-3
2	一松小学校	2階	11.5m	一松573	G-4
3	高根小学校	2階	8.2m	本郷1297	F-3
4	八幡小学校	3階	14.2m	本郷2640	E-5
5	高根中学校	3階	14.7m	本郷1634	E-3
6	高根村文化会館	2階	11.5m	本郷2119	E-4
7	高根村役場	2階	11.5m	本郷177	F-3
8	高根村保健センター	2階	10.3m	本郷177	F-3
9	高根村総合福祉センター	2階	10.3m	本郷177	F-3
10	高根村総合福祉センター	2階	6.0m	本郷5346-1	D-2
11	高根村総合福祉センター	2階	11.0m	本郷507	H-3
12	高根村総合福祉センター	2階	10.0m	一松2379-1	H-4

ハザードマップの緊急避難場所

## 一松コミセン2階 の使用は当然

議員

住民が避難した場所は適  
切であったということです。  
住民が一松北部コミセン  
の2階を解放してほしいと  
要望したことは正しかった  
のではないか。

総務課長

屋上に避難し、その後の  
状況を見て2階で待機する  
ということが現実的である  
と考えます。

議員

ハザードマップには、2

議員

カムチャツカ半島沖地震  
は、震源が遠かったために  
津波の到達に時間がかかっ  
た。

しかも、津波の高さが1  
から3メートルの警報であ  
り、3メートル以上の大津  
波警報ではなかったとい  
うこと。

だから、一律に屋上へ避  
難し、さらに山側へとい  
うことはならなかった。

一時避難場所が数時間の  
避難所の運営に迫られたと  
いうことが今回の経験です。  
これを津波災害対策に十  
分生かしていただきたい。

## その他

○公共下水道の持続的運営  
について  
○福祉タクシー助成金拡充  
について  
質問しました。







## 「地方創生伴走支援制度」の進捗状況は 井下田政美 議員

議員

「地方創生伴走支援制度」の進捗状況について伺います。

村長

これまでの取組みについては、5月に地方創生支援官が村を訪問され、地方創生に関する意見交換を行いました。

また、7月に開催されたイベントに支援官とともに参加し、全国の地方創生に係る取組み事例などを確認し、その後支援官とウェブにより情報収集した内容について意見交換を行いました。

議員

支援官との意見交換の際、支援官より重要な指摘や助言をいただいたのか、また、助言などをいただいた場合、今後の施策にどう反映させ

ていくのでしょうか。

企画財政課長

直近では、企業誘致に係ることとして、まだ具体化したわけではございませんが、新エネルギーの生産に関する企業が誘致先を探しているとの情報を得たところでございます。

議員

これまでの支援官との取り組みや今後の計画に対して、村民にどのように情報発信していく予定なのか見解を聞かせてください。

企画財政課長

村のホームページやSNSを通じて発信していきたいと思えます。

また、支援官も国への取りまとめの報告があるとのこと、その内容についても公表したいと考えています。

## RSウイルスに対する予防接種の助成を

議員

RSウイルスに感染した乳児の多くは入院を余儀なくされます。

治療には、有効な治療薬が無く、対処療法が中心となっています。

生後6ヶ月以内の乳児がRSウイルスに感染した場合、入院に至るケースもあり、その要因は、乳児の気道が細いこと、免疫機能が未熟であること、そして、自力でたんを出すことが弱いこと、などが主な原因であるとされています。

しかし、保護者には十分に伝わってはいないと考えます。

乳幼児の重症化の要因について、村はどのように認識しているのか見解を求めます。

健康推進課長

重症化リスクのある乳幼児に対しては、RSウイルス感染症の発症抑制に効果のある抗体製剤を保険適用で接種できるようにしております。

議員

県内で公費負担を実施している「いすみ市」の助成内容について伺います。

健康推進課長

令和7年4月1日以降妊娠の届出をした妊婦を対象に、接種にかかる費用の半額、1万5000円を上限に助成しています。

議員

仮に重篤化する可能性がある高齢者を全体の5%程度とした場合、概算事業費は分かれますか。

健康推進課長

概ね240人となります。接種費用の半額1万5000円を上限に助成した場合の概算事業費は、360万円となります。

議員

妊婦に対する同様の助成をした場合、概算事業費を伺います。

健康推進課長

年間の妊娠届は50件程度で、その概算事業費は75万円となります。

議員

ワクチン接種の公費負担を導入する医療費削減効果などについて、見解を聞かせください。

健康推進課長

製薬会社の資料によると、インフルエンザによる入院に比べ2倍程度の期間を要することが示されており、ワクチン接種の推進により入院期間が減少すれば、医療費の削減効果が期待できると考えます。

議員

RSウイルスにともなう60歳以上の患者数は1002万4860件で、年間の医療費の総負担額は944億円とのデータが公表されています。

ぜひ、周知をはじめ、今後の動向も注視し検討を求めます。



## 議長・議員が出席または参加予定の主な行事

9月	10月	11月	12月
1日 一宮聖苑組合議会 2日 議会運営委員会 6日 長生村少年の主張大会 9日～11日 議会定例会9月会議 敬老ながいき祭り 長生郡市広域市町村圏組合決算審査特別委員会	3日 (仮称) 西消防署庁舎起工式 6日 長生郡市議会第1回地区交流会 9日、10日、14日 決算審査特別委員会 地震・津波避難訓練 議会だより編集特別委員会 小学校運動会 いすみ市市制施行20周年記念式典 総務大臣感謝状贈呈式 長生郡市広域市町村圏組合視察研修 議会だより編集特別委員会 長生郡市生涯学習視聴覚教育振興大会 こども園運動会 千葉県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会・全員協議会	1日 長生村文化祭・むらつ子発表会 7日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会 ながいきフェスタ 第69回町村議会議長全国大会 長生郡市広域市町村圏組合議会全員協議会 議員派遣（茨城県常陸大宮市） 長生郡市広域市町村圏組合議会第3回定例会 千葉県町村議会議長会第2回定例会	2日 議会運営委員会 9日～12日 議会定例会12月会議（予定）

### 議会だよりに対する

ご意見・ご感想を  
お寄せください。

ご連絡は下記まで。

### 長生村議会事務局

TEL:32-4744 FAX:32-1177

メールアドレス:cho-gikai@vill.chosei.lg.jp



## 皆さんも議会を傍聴しませんか!!

議会は、村民の皆さんの声を村政に反映させる場です。  
審議がどのように行われているのか、傍聴しませんか。

※傍聴される方は、役場3階傍聴席入口で、氏名などを記入していただきます。

議会定例会12月会議は

12月9日（火）から開催の予定です。



## 編集後記

8月、9月の猛暑もようやくおさまり、涼しさが増してきましたね。

議会では、村民の皆様から陳情をいただいた、村内体育施設における高温対策の早急な実施についても議論を交わし、早急な設置を執行部へ要望しました。

また、行政視察を行い、神奈川県山北町議会を訪問してきました。

視察内容は主に、長生村議会でも検討している、議会会期中のインターネット配信に関することです。

長生村議会では、日々より良い議会だよりを作成するために編集委員が検討をしながら作成しています。

編集委員会の委員も年度の交代で新しい編集委員メンバーとなりました。

今後も編集委員一同、村民の皆さんへ議会のことを知っていただくため、内容充実に努めてまいりますので、よろしく願います。

副委員長